

令和2年度事業計画

【事業方針】

当協会は長年に亘り、「環境技術会誌」の発行、事例研究発表会や中央研究集会・セミナーの開催、廃棄物処理施設技術管理者等継続学習認定制度（以下、技術管理者等 CPDS という。）の創設等、技術管理者等の資質と社会的地位の向上に取り組み、廃棄物処理施設の安全で安定的かつ効率的な施設管理に貢献すべく活動をしてきた。

本年度は財政健全化に向け、事業の選択と集中を行いつつ、引き続き技術管理者の技術力と社会的地位向上を図り、会員サービス強化に努める。さらに、昨年4月から実施している環境省補助事業を継続し、地域循環共生圏の構築を支援する。

重点事業として、以下のような事業や表彰制度の拡充を図ることとする。

【重点事業】

① 環境省補助金事業の実施

平成31年4月から実施している「2019年度（平成31年度）二酸化炭素排出抑制対策事業費等補助金事業（廃棄物処理施設を核とした地域循環共生圏構築促進事業）」を継続して実施するほか、以下の補助事業者（執行団体）業務を新規実施する。

- ・「令和元年度補正予算二酸化炭素排出抑制対策事業費等補助金事業（廃棄物処理施設を地域の防災・エネルギー拠点とするための施設整備事業）」
- ・「令和2年度二酸化炭素排出抑制対策事業費等補助金事業（廃棄物処理施設を核とした地域循環共生圏構築促進事業）」

② 会員の増強

- ・技術管理者講習修了者に対して、入会案内、廃棄物処理施設技術管理者等継続学習認定制度（以下、技術管理者等 CPDS という。）への申込書を配布するなど、技術管理者等 CPDS とリンクした会員増強策を実施する。
- ・会員のメリット向上のため、新たに協会ホームページ「会員のページ」に「環境技術会誌」のバックナンバーを順次掲載する。
- ・廃棄物処理関連団体に対し、賛助会員または団体会員入会の勧誘を行う。

③ 技術管理者等 CPDS の実施

- ・技術管理者講習修了者に対して、技術管理者等 CPDS 案内パンフレットを配布し、参加者の増強に努める。

【事業計画】

1. 普及啓発事業

(1) 広報・出版活動

1) 「環境技術会誌」季刊発行（4月、7月、10月、1月）

「環境技術会誌」は、紙面の充実を図るとともに会員へのサービス向上を目的として、発行する。

本年度は、特別企画として「廃棄物処理法制定 50 周年」、特集企画として「廃棄物処理のイノベーション（廃棄物処理の新機軸）」をテーマとして編集する。また、「環境技術会誌」の論文としての価値を高め、会員の資質向上のために査読付きの投稿論文を募集する。

このように、本誌を通じて会員からの情報提供を得ながら、会員の資質向上と会員相互の情報交換の場となるように努める。

第 179 号（令和 2 年 4 月）

第 180 号（令和 2 年 7 月）

第 181 号（令和 2 年 10 月）

第 182 号（令和 3 年 1 月）

（主な記事）

- ・廃棄物処理・維持管理技術に関する特集記事、報文
- ・環境省等行政資料
- ・国内・海外の廃棄物関連情報

2) ホームページの運営

廃棄物情報の提供、会員との情報交流並びに当協会の情報公開の場として運営を行う。

現在会員のページには平成 28 年度から廃棄物処理法入門コーナー、メールマガジンのバックナンバー等に加え、新たに全方位検索型環境法令集を掲載している。

今後、「環境技術会誌」バックナンバーの掲載等、会員にとって有益な情報を順次掲載して会員サービスに努める。

3) メールマガジンの配信

会員へのスピーディな情報発信のため、会員の希望者には毎月メールマガジンを配信する。

(2) 研修会・講習会の実施

1) 第 41 回廃棄物処理施設技術管理者中央研究集会（技術管理者等 CPDS 認定）

本集会は以下のとおり開催する予定をしていたが、新型コロナウイルス感染症の拡大に伴い、本年秋以降に延期する。

開催日：令和 2 年 6 月 18 日（木）、10 時～16 時 30 分

会 場：エッサム神田ホール 301 会議室

テーマ：（仮）廃棄物処理のイノベーション

—廃棄物処理施設を核とした地域循環共生圏構築—

2) 廃棄物処理施設技術管理者等継続学習認定制度の実施

廃棄物処理施設を適正に維持・管理するには、常に最新の維持管理技術や管理手法等を習得し、技能の向上が技術管理者にとって重要であることから、本年度も当協会の事業として、継続学習制度（以下「CPDS」Continuing Professional Development System の略）を実施する。

3) 廃棄物処理施設技術管理者等スキルアップ研修会（技術管理者等 CPDS 認定）

廃棄物処理技術に関する最新情報を提供するとともに、廃棄物処理の現場で抱える様々な課題について講師と参加者が相互に事例紹介や情報交換を行う場として（一財）日本環境衛生センターと共催して実施する。

福岡会場：令和2年11月11日（水）～13日（金）、リファレンス大博多ビル

岡山会場：令和2年11月25日（水）～27日（金）、第1セントラルビル1号館

(3) 第64回「生活と環境全国大会」公開講座（開催中止）

当協会の事例研究発表会は平成24年度から（一財）日本環境衛生センターの「生活と環境全国大会」の公開講座の中で共催事業として実施されてきたが、この事例研究発表会については、令和元年度をもって終了し、令和2年度からは、（一財）日本環境衛生センターの公開講座に協賛者として企画等の協力を行う予定であった。

なお、事例研究発表については、「廃棄物処理施設技術管理者中央研究集会」の一部に組み込んで実施する。

第64回「生活と環境全国大会」

令和2年10月21日（水）～23日（金）、金沢市

(4) 各種表彰

1) 環境大臣表彰の推薦

環境大臣表彰の中央推薦の基準に基づき、当協会会員を推薦する。

2) 第64回生活と環境全国大会（令和2年度）大会長感謝状受領者の推薦

大会長感謝状の中央推薦団体として2名を推薦する。

贈呈式：第64回大会席上

3) 会長感謝状の贈呈制度

永年に亘り、会の発展に尽力した会員に対して会長感謝状を贈呈する。

4) 年間論文賞の表彰制度

会員からの環境技術会誌、地区協議会会誌の投稿を対象とした優秀論文を表彰する。

この賞は年間論文賞審査委員会において選考し、運営委員会で決定する。

(5) 地区協議会活動への支援

1) 設立の支援

・地区協議会設立契機提供事業（出前事業）

2) 活動への支援（行事・講師派遣等）

2. 調査・研究・補助事業

1) 環境省補助金事業

以下の事業を補助事業者（執行団体）として実施する。

- ①「2019年度（平成31年度）二酸化炭素排出抑制対策事業費等補助金（廃棄物処理施設を核とした地域循環共生圏構築促進事業）」（継続：債務負担分）
- ②「令和元年度補正予算二酸化炭素排出抑制対策事業費等補助金（廃棄物処理施設を地域の防災・エネルギー拠点とするための施設整備事業）」（新規）
- ③「令和2年度二酸化炭素排出抑制対策事業費等補助金（廃棄物処理施設を核とした地域循環共生圏構築促進事業）」（新規）

本補助金事業は、廃棄物処理施設において、高効率な廃熱利用と大幅な省エネが可能な設備の導入や廃棄物焼却施設で生じた熱や発電した電力を地域で利活用するなどにより、廃棄物処理施設及び周辺施設における二酸化炭素排出抑制を図るなど低炭素化の取り組みを支援するため、以下の事業について補助金を交付するものである。

- (1) 環境大臣の承認を受けた循環型社会形成推進地域計画等に基づくエネルギー回収型廃棄物処理施設の新設に関する事業
- (2) 環境大臣の承認を受けた循環型社会形成推進地域計画等に基づくエネルギー回収型廃棄物処理施設の改良に関する事業
- (3) 電線、変圧器等廃棄物発電により生じた電力を利活用するための設備等を導入する事業
- (4) 熱導管等廃棄物の焼却により生じた熱を利活用するための設備を導入する事業
- (5) 廃棄物焼却施設からの余熱や発電した電気を地域において有効利用するために、余熱見込量や事業採算性の検討等を行い事業としての実現可能性を調査する事業

3. 技術支援

本会の長年にわたる活動実績を活かし、廃棄物処理施設の計画・建設及び運営に関する相談業務を実施し、会員サービス向上に努める。

4. 事業推進のための会議等

(1) 第11回定時社員総会の開催

開催日：令和2年6月17日（水）、13時30分～15時30分

会場：エッサム神田2号館

議事等：①令和2年度新役員等選任の件
②令和元年度事業報告の件
③令和元年度決算の件
④令和2年度事業計画の件
⑤令和2年度事業予算の件
⑥その他

(2) 理事会の開催

1) 第31回理事会（書面決議）

理事会を以下のとおり開催する予定であったが、新型コロナウイルス感染症の影響により書面決議とした。

開催日：令和2年5月25日（月）、13時30分～15時30分

会場：連合会館

議事等：①令和2年度役員候補者の選出の件
②令和元年度事業報告の件
③令和元年度決算の件
④その他

2) 第32回理事会

開催日：令和2年6月17日（水）、13時30分～15時30分

会場：エッサム神田ホール2号館

議事等：①令和2年度業務執行理事（専務理事）等の選任の件
②その他

3) 第33回理事会

開催日：令和3年3月下旬、14時～16時

会場：連合会館（予定）

議事等：①令和3年度事業計画の件
②令和3年度収支予算の件
③その他

(3) 委員会等の開催

1) 運営委員会 年4回程度開催

議題：①組織の運営・管理に関する事項
・事業計画、予算及び決算に関すること
・会員の増強に関すること
・地区協議会の設置、育成、強化に関すること
②会則、細則、制度、内規及びその他の規定に関すること
③研修会、講習会等の企画及び実施に関すること
④会員の表彰等の選考調整に関すること
⑤その他本会の目的達成のために必要な事業に関すること

2) 編集委員会 年1回開催、令和2年12月中旬の予定

議題：①環境技術会誌の企画、編集に関すること
②刊行物に係る業務に関すること

3) 廃棄物処理施設技術管理者継続学習制度運営委員会

議題：①CPDS 運営状況の検討
②称号付与の検討

5. その他の事業

1) 「廃棄物処理施設技術管理士」証明看板の発行

6. 関係団体への協力等

国をはじめ関係団体等が行う各種の活動・行事等の啓発活動等に対して協力を行う。

- ① 廃棄物団体連合会及び関連団体の活動・行事への参画、参加
- ② 第64回生活と環境全国大会（令和2年10月21日～23日、金沢市文化ホール）の協賛

③その他関係団体の行事等への協力

7. 組織運営

(1) 財政の健全化

1) 入会促進

(一財)日本環境衛生センターの技術管理者講習修了者に対して、入会を促進する。また、廃棄物処理に関する団体等に対しては、賛助会員、団体会員への入会を促進する。

2) 新規事業等の推進

環境省の補助金事業を実施し、組織基盤の強化を図る。